

輸入検疫で発見された主な重要病害虫

2002年に輸入された植物から発見された主な重要病害虫は下表のとおりである。これらの病害虫の多くは携帯品で持ち込まれた輸入禁止生果実から発見されている。また、輸入禁止対象及び特定重要病害虫以外でもアメリカ産セロリ等8カ国21種類から *Liriomyza huidobrensis*

(264件)、タイ産トウガラシ生果実等7カ国6種類からマレーシアミバエ(178件)、オランダ産テンサイ種子等9カ国3種類からテンサイさび病菌(60件)及びメキシコ産ライムからニセヤノネカイガラムシ(37件)等重要な病害虫も数多く発見されている。

	発見病害虫名		寄主植物別発見回数				輸出国別発見回数	
	発見病害虫名	発見回数	寄主植物	発見回数	寄主植物	発見回数	輸出国	発見回数
輸入禁止対象病害虫	<i>Bactrocera cucurbitae</i> ウリミバエ (6件)	6	ニガウリ (4)	4	ササゲ (1)	1	ナンバンカラスウリ (1)	1
	<i>Bactrocera dorsalis</i> species complex ミカンコミバエ種群 (193件)	193	マンゴウ (53)	53	バンジロウ (36)	36	トウガラシ (22)	22
	<i>Ceratitis capitata</i> チチュウカイミバエ (31件)	31	リュウガン (10)	10	サントール (7)	7	レンブ (21)	21
	<i>Cydia pomonella</i> コドリンガ (2件)	2	リンゴ (2)	2	パンレイシ (6)	6	その他17種 (38)	38
	<i>Cylas formicarius</i> アリモドキゾウムシ (3件)	3	サツマイモ (1)	1	アボカド (1)	1	ザクロ (1)	1
	<i>Euscepes postfasciatus</i> イモゾウムシ (1件)	1	サツマイモ (1)	1	マルメロ (1)	1	マンゴウ (1)	1
	<i>Aleurocanthus woglumi</i> ミカンクワダコナジラミ (2件)	2	スワンギ生葉 (2)	2				
	<i>Anastrepha fraterculus</i> ミナミアメリカミバエ (3件)	3	マンゴウ (2)	2	バンジロウ (1)	1		
	<i>Anastrepha suspensa</i> カリブミバエ (1件)	1	バンジロウ (1)	1				
	<i>Ceratitis rosa</i> ナタールミバエ (1件)	1	アボカド (1)	1				
特定重要病害虫	<i>Dendroctonus ponderosae</i> アメリカマツノキクイムシ (1件)	1	マツ属木材 (1)	1				
	<i>Diabrotica undecimpunctata</i> ジュウイチホシウリハムシ (5件)	5	コリアンダー (3)	3	カラシナ (1)	1	レタス (1)	1
	<i>Lygus lineolaris</i> サビイロカスミガメ (1件)	1	エンダイブ (1)	1				
	<i>Zabrotes subfasciatus</i> ブラジルマメゾウムシ (2件)	2	インゲンマメ (1)	1	ライマメ (1)	1		

海外のニュース

ニュー・ジーランドにおける Painted Apple Moth の侵入とその対策

Painted Apple Moth (*Teia anartoides*:ドクガ科)は、オーストラリアのみに分布し、従来は自生しているアカシア属植物を好むマイナー害虫であったが、最近では、リンゴ、西洋ナシ、アンズなどバラ科植物全般及びソラマメ、パッションフルーツ、ヤナギなど広範な農作物や樹木を加害することも知られるようになった。

1999年に未発生国であるニュー・ジーランドの西オークランドで初めて確認され、その後も周辺地域での発生が確認されたことから、ニュー・ジーランド政府は根絶プログラムを開始している。

成虫は、開張20~30mm、茶褐色である。被害は幼虫による葉の食害が主であり、オーストラリアにおいては他の農業害虫とともに同時防除されるため問題とならなかったが、ニュー・ジーランドでは防除体制が確立されていないため、農耕地のみならず、森林、公園など広範な

被害が危惧された。このため、ニュー・ジーランド政府は、1996年に発生した White Spotted Tussock Moth (*Orgyia thyellina*) の根絶に3年間で成功したバチルス・チューリンゲンシス(Btk)と呼ばれる細菌が産出する毒素を用いて航空防除する手段を中心に根絶を進めている。

現在、発生地域では航空防除と併せて、地上のモニタリング調査及びBtkを用いた地上防除、罰則を伴った寄主植物の移動制限などの対策が進められており、発生は西オークランドにとどまっている。

(参考: <http://www.maf.govt.nz/biosecurity/pests-diseases/forests/painted-apple-moth/>)

発行所 横浜植物防疫所
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎 ☎(045)211-7155
発行人 森田 健二
編集責任者 高山 睦雄
印刷所 内村印刷株式会社